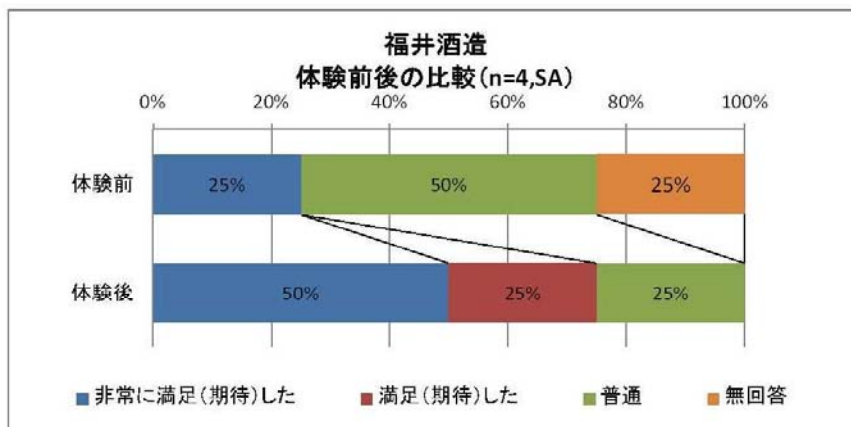


4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	1	25%	2	50%
満足(期待)した	0	0%	1	25%
普通	2	50%	1	25%
あまり満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
無回答	1	25%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



体験後のコメント

親切にお酒造りの工程をわかりやすく説明してくれた。又、試飲できておいしいお酒が楽しめる。
造酒についてすごく勉強になり、おもしろかった。
良かった。

全体感想

社長さんはおおらかで、エピソードを話しながらお酒の種類や作り方・工程・原料等を分かりやすく説明してくれたので、豊橋の名酒である千年浪漫とか女性人気の梅ワインを覚えた。お土産によい物がまた1つ増えた。
造酒の工程などを詳しく説明頂き勉強になった。しかし、一般観光客の視点に立って考えると、参与的な体験をする事ができないのは少し物足りない気がする。

■三河港

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	0
経験は無かったが、認識していた	1
経験が無く、認識もしていなかった	3
他地域で経験がある	0
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	0
良い	2
普通	2
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント

海や港を楽しめるいい所である。又、中国や韓国など国内外の輸出入の重要な拠点である事もわかった。もし船に乗る体験があれば、観光地として良い。
内陸出身の私にとっては、すごく良いと思うが、好きではない人も結構いると思う。
豊橋は小さな町だが、全国で一番の港がある。

3.母国の家族友人知人への推薦度

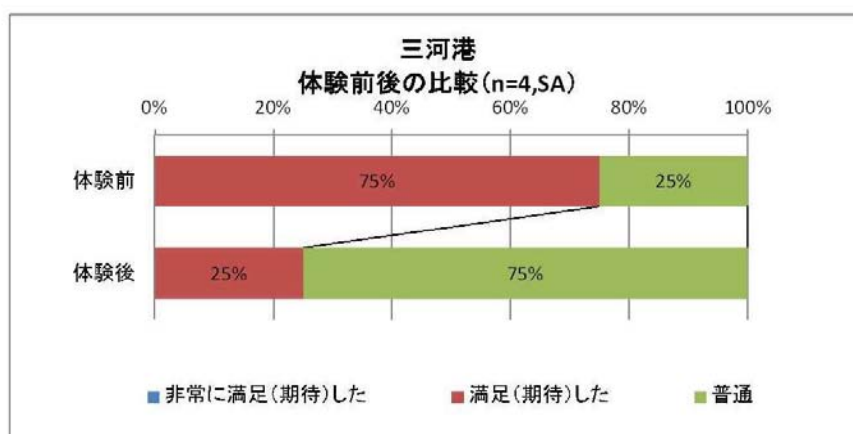
	回答数
是非紹介したい	0
紹介したい	3
どちらともいえない	1
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント

きいな海が見られ、日本と世界を結ぶ貿易の中心であるとして、紹介したい。
故郷の青島港と烟台港と関わりがあるので紹介しやすいと思う。
三河港は車の輸出は日本で一番。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	0	0%	0	0%
満足(期待)した	3	75%	1	25%
普通	1	25%	3	75%
あまり満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



体験後のコメント

きれいで広い海が見られたり、楽しんだりする事ができるし、自動車の輸出入の重要な港として知られているから。

重要なポイントが今日は感じられなかった(車の輸出入のにぎやかな様子が見られなかった)。

■三の丸会館

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	0
経験は無かったが、認識していた	1
経験が無く、認識もしていなかった	2
他地域で経験がある	1
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	2
良い	2
普通	0
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント
景色のいい所で、日本の伝統的な茶道を体験する所である。日本らしい雰囲気が感じられる。
環境が良い。抹茶を飲めて茶道を体験する事ができた。
かわいい、おいしい。
日本人の心づかいが感じられ非常に良かったと思う

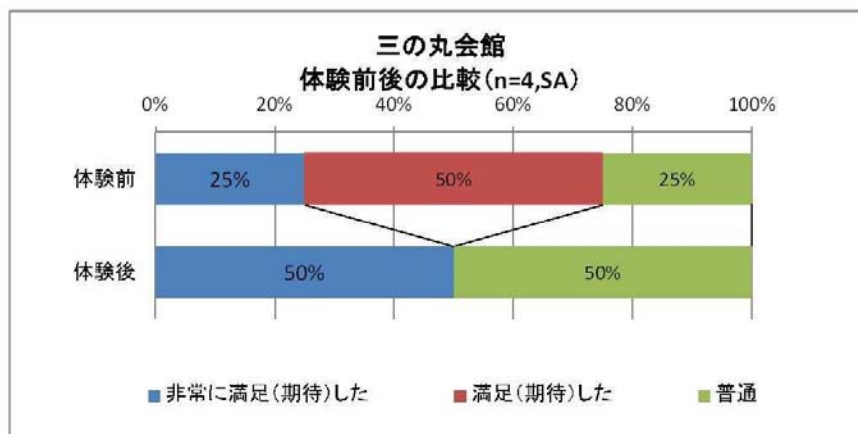
3.母国の家族友人知人への推薦度

	回答数
是非紹介したい	3
紹介したい	0
どちらともいえない	1
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント
景色のよさ、雰囲気の日本らしさ。
お菓子の形がきれいだった。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	1	25%	2	50%
満足(期待)した	2	50%	0	0%
普通	1	25%	2	50%
あまり満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	5	125%	4	100%



体験後のコメント

景色を眺めながら、日本茶道の静寂を味わえる。心が和む。
本格的な茶道を一度体験してみたい。
甘かった。
味はもちろん、心遣いというものを感ずる点は良かった。

全体感想

茶道のコーナーや、抹茶の点て方等をわかりやすく説明してくれてよかった。
あんずは普通の物だと思うが、今日食べたあんずはおいしかった。自分のデザインを作れるのはすごく良いと思う。このようなサービスは中国では少ない。
お茶は中国にもあるが、お茶を通して主客双方の心の交流を深めるようなやり方は、それほど見られない。「一期一会」という考え方を是非とも中国人にも知ってほしいと思う。

■吉田城址

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	2
経験は無かったが、認識していた	0
経験が無く、認識もしていなかった	1
他地域で経験がある	1
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	0
良い	1
普通	3
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント

昔の城跡のまま復元したが、木の建築の美しさがあまり感じられない。
歴史的な物は本物の方が行きたい。こちらはちょっと・・・。
豊川の河川と景色も見られて、無料で日本の歴史も理解してもらえる。

3.母国の家族友人知人への推薦度

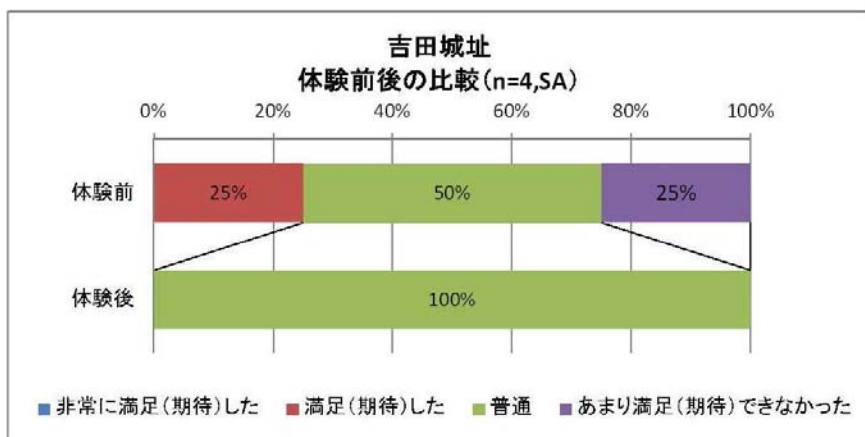
	回答数
是非紹介したい	0
紹介したい	2
どちらともいえない	2
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント

日本の歴史を知るのに良い。
日本の他の城と比べてあまり有名ではないので、紹介しても来ないと思う。
日本の文化、歴史。これは日本の伝統である。日本の伝統を守るのに、これは一番大切なものだと思う。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	0	0%	0	0%
満足(期待)した	1	25%	0	0%
普通	2	50%	4	100%
あまり満足(期待)できなかった	1	25%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



コメント

ビデオを流しての説明があれば良い。
 歴史があまりないので、旅行に来るポイントにはならないと思う。
 観光客として日本に行って、日本の文化・歴史・〇〇一番を理解したいと思う。

全体感想

昔の歴史を紹介するビデオを流して説明を加えればよい。

■路面電車

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	1
経験は無かったが、認識していた	2
経験が無く、認識もしていなかった	1
他地域で経験がある	0
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	1
良い	3
普通	0
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント

全国でわずかに17カ所残っている路面電車の1つとして豊橋独特の観光スポットとして残してほしい。ただ、駅や車内でそのような説明があると良い。
値段が安くて便利である。

3.母国の家族友人知人への推薦度

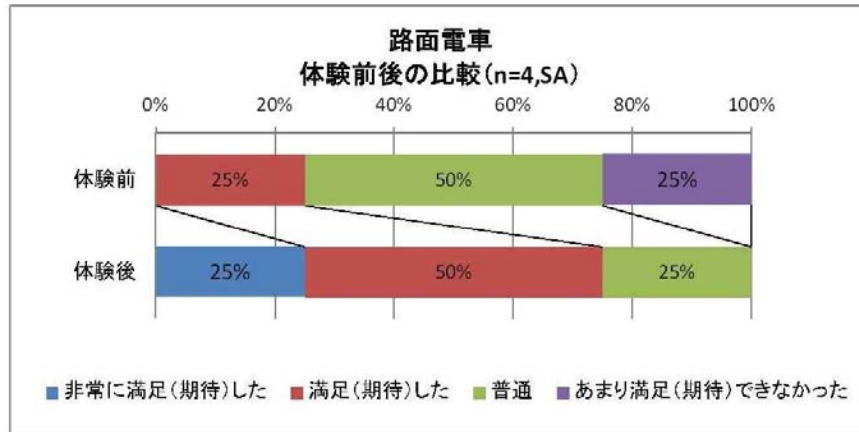
	回答数
是非紹介したい	1
紹介したい	3
どちらともいえない	0
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント

豊橋独特の観光スポットとして紹介したい。
中国では珍しい物なので、是非紹介する。
日本では路面電車は少なくなるので、是非乗りたい。
車窓越しに街並みを満喫できる事が魅力的だが、今日はあいにくの雨で残念だった。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	0	0%	1	25%
満足(期待)した	1	25%	2	50%
普通	2	50%	1	25%
あまり満足(期待)できなかった	1	25%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



体験後のコメント
他の所で体験する事ができないから。
中国にも路面電車はあるが、電車の広さは中国より良い。

全体感想
路面電車は中国では限られた都市にしかない。又、街並み自体は中国と全然違うし、景色を眺めながら移動するというのはとても良い体験だと思う。

■スマートボール

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	0
経験は無かったが、認識していた	1
経験が無く、認識もしていなかった	3
他地域で経験がある	0
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	0
良い	4
普通	0
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント
安くて楽しくできるので、子供や若い人にとっては面白いところである。
おもしろかった。
これは日本だけのものだと思う。やっぱり日本のゲームはおもしろかった。
中国では見かけないものなので、良い体験をさせてくれる項目となると思う。

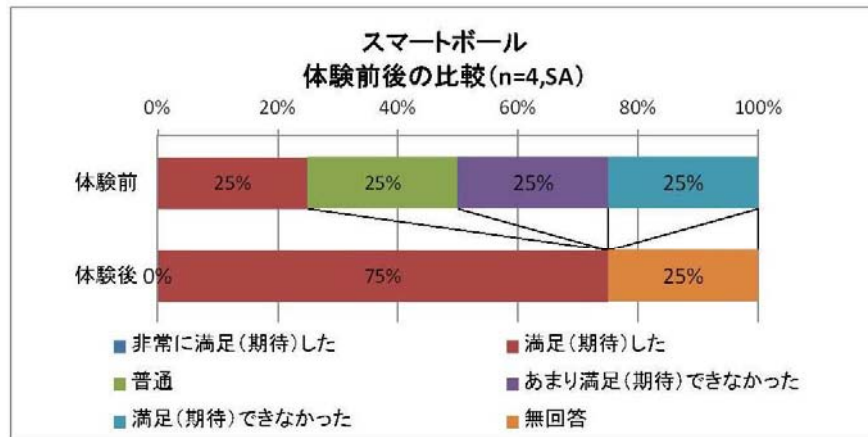
3.母国の家族友人知人への推薦度

	回答数
是非紹介したい	0
紹介したい	2
どちらともいえない	1
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	1
回答者数	4

コメント
安くて楽しい遊び場として紹介したい。
中国にない物を紹介したい。
若者には良いと思うが、60代以上の観光客にはどうか分からない。観光客の年齢で判断した方がよいと思う。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	0	0%	0	0%
満足(期待)した	1	25%	3	75%
普通	1	25%	0	0%
あまり満足(期待)できなかった	1	25%	0	0%
満足(期待)できなかった	1	25%	0	0%
無回答	0	0%	1	25%
回答者数	4	100%	4	100%



コメント

楽しく遊ぶ事ができ、リラックスもできる。

テレビゲームでやった事があるが、現物でできるとは思わなかった。満足したので友達に紹介したい。

おもしろかったが、観光客としてはどう思うかわからない。

全体感想

楽しく遊ぶ事ができる。プレゼントももらえるので面白い。

■豊橋うなぎ

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	3
経験は無かったが、認識していた	0
経験が無く、認識もしていなかった	0
他地域で経験がある	1
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	1
良い	2
普通	1
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント
おいしかった。
日本はソフトサービスがすごく良いと思う。うなぎ丼はおいしかった。観光客として絶対食べてみたいと感じる。店の環境が良い。
うなぎのかば焼きと言えば日本、というイメージを抱いているので食べられて良かったと思う。

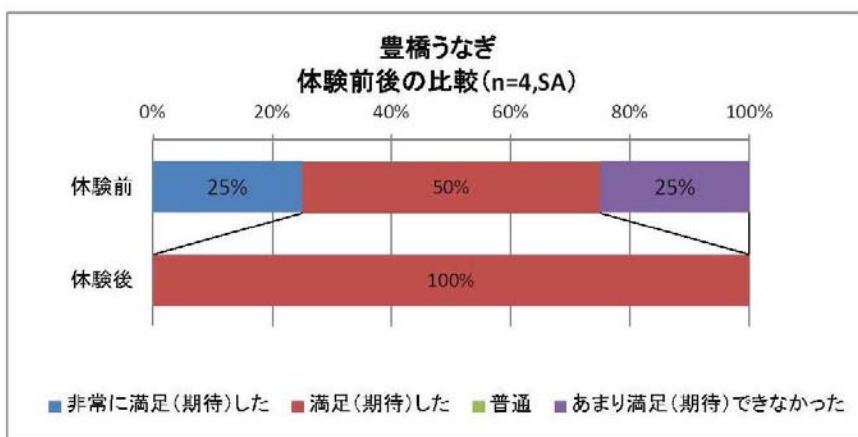
3.母国の家族友人知人への推薦度

	回答数
是非紹介したい	1
紹介したい	3
どちらともいえない	0
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント
食器がきれいで、料理もきれいに盛り付けてある。さすが目で楽しむ日本料理。食感も良い。
日本の名産として紹介価値があると思う。
うなぎの食べ方を紹介したい。写真を見せたら絶対食べたいと言われると思う。
日本の味を是非味わってもらいたい。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	1	25%	0	0%
満足(期待)した	2	50%	4	100%
普通	0	0%	0	0%
あまり満足(期待)できなかった	1	25%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



コメント

豊橋の有名な食べ物で、目で楽しめるし味も良い。値段も合理的だと思う。
中国の作り方とは違って、おもしろいと思う。
おなかがいっぱいになった。

全体感想

豊橋の有名で代表的な料理が食べられるのは嬉しい。あまり豪華ではないが、普通の人が入りやすいような場所である。料理は見た目できいなだけでなく、味も濃厚でおいしい。
観光客として、わざわざ豊橋に旅行したいとは思えない。

■日本茶

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	2
経験は無かったが、認識していた	1
経験が無く、認識もしていなかった	0
他地域で経験がある	0
他地域で経験はない	1
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	1
良い	2
普通	1
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント

あっさりとして香りも良い。
体験して面白いと思う。時間があればしっかり習いたい。
抹茶は日本だけの物。観光客に作り方を教えながら売ると良い。
もう少し説明を足してくれれば、尚良いと思う。

3.母国の家族友人知人への推薦度

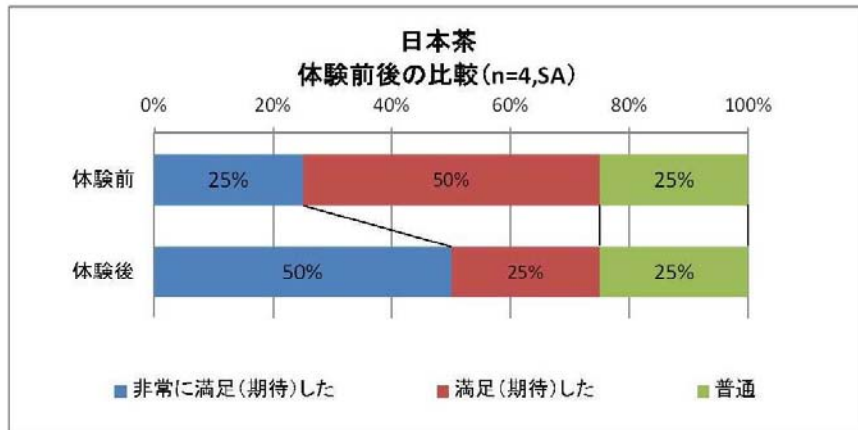
	回答数
是非紹介したい	2
紹介したい	1
どちらともいえない	1
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント

口当たりが良い。ちょっと苦み・渋みがあるがお菓子に合う。
日本と中国のお茶の飲み方は違うので紹介したい。でもお茶自体はおいしいとは思わない。
味・色・作り方・飲み方を教えるす。
中国では味わえない物なので、一度だけでもよいので、是非体験してもらいたいと思う。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	1	25%	2	50%
満足(期待)した	2	50%	1	25%
普通	1	25%	1	25%
あまり満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



コメント

日本の伝統的な茶道のマナーや点て方が体験できて静寂の美しさを感じられて良かったと思う。
 日本に留学していれば茶道を習いたいが、短期で日本旅行に来た場合は、少し買うだけである。
 あんずと抹茶を合わせて良かった。

全体感想

抹茶屋さんは親切で、マナー・抹茶の茶具・点て方を紹介してくれて、抹茶を飲む事ができる。茶道の理念を感じられて良い所である。

■茶菓子

1.体験、認識の有無

	回答数
経験がある	0
経験は無かったが、認識していた	2
経験が無く、認識もしていなかった	2
他地域で経験がある	0
他地域で経験はない	0
回答者数	4

2.地域資源内容

	回答数
大変良い	1
良い	3
普通	0
一部改善が必要	0
全面改善が必要	0
回答者数	4

コメント

きれいに見える。
見た目に美しくおいしい。
お茶室の環境が良い。お菓子とお茶もおいしかった。

3.母国の家族友人知人への推薦度

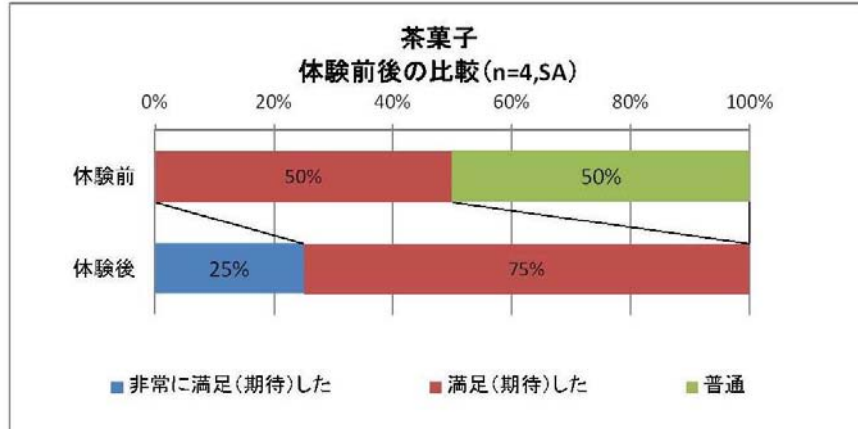
	回答数
是非紹介したい	1
紹介したい	2
どちらともいえない	1
あまり紹介したくない	0
紹介したくない	0
回答者数	4

コメント

形のきれいな点と、味の良さを紹介したい。
日本のお菓자에興味がある人に紹介したい。
抹茶の味と抹茶の食べ方(ゼリー、アイスクリーム等)を紹介したい。

4.体験前後の比較

	体験前		体験後	
	回答数	回答率	回答数	回答率
非常に満足(期待)した	0	0%	1	25%
満足(期待)した	2	50%	3	75%
普通	2	50%	0	0%
あまり満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
満足(期待)できなかった	0	0%	0	0%
回答者数	4	100%	4	100%



体験後のコメント
口当たりが良く、抹茶に合う。
お茶とお菓子の味は普通だと思うが、両方合わせるとおいしかった。でも、旅行の面から考えるとこれだけでは足りない。
サービスが良かった。抹茶は日本だけの物なので是非紹介したい。

全体感想
抹茶の飲み方(マナー)は、今日初めてわかった。
中国にない物なので、是非家族や友人に味わってもらいたいと思う。

C 中国人留学生との座談会概略

開催日 平成 23 年 12 月 9 日 (金)

豊橋市の中国人留学生 5 人と国慶節モニター調査および地域資源モニター調査に対する意見、感想等を気楽に話す場を設けた。その内容は下記のとおりである。

○国慶節モニター調査について

(留学生)

- ・場所や日時が分からなかったため、手筒花火を見た事はなかったが、興味はあった。実際に見ると、豪快であった。観光客は 30 分の見学時間では短い。できればゆっくり見てほしい。
- ・豊橋でしか見られないので是非体験してみたいと思っていた。
- ・花火だけ見ていると同じ物の繰り返しなので、服装 (刺子)・歴史等の説明があれば聞きたいという意見が中国人観光客からあった。来年同じようなイベントがあれば、このような事も紹介したいと思う。
- ・手筒花火に興味を持ったのはテレビ番組で詳しく紹介しているのを見て、見てみたいと思った。バス車内でのモニター放送やガイドの説明があれば良い。

(事務局)

- ・豊橋市、豊橋観光コンベンション協会のホームページに、手筒花火の記録や動画を公開し、中国語で説明する事は、役に立つと思うか。

(留学生)

- ・役に立つと思う。予備知識があると興味を持って見る事ができると思う。
- ・手筒花火を見る場所が限られているため、人が込んでいると見えないことがある。
- ・初めて見て観光客を案内したため、説明不足があったと思う。「どこで手筒花火が見られるか」、「手筒花火はどのようなものか」、「なぜ毎年続けてやっているのか等」も紹介した方がよい。手筒花火だけをアピールしていたが、夜店も祭りの大切な部分として見てもらったほうがよい。
- ・観光客は、見た目だけではなく、どういう所なのかを知りたいと思う。その結果、何回も見てみたいと思うのではないか。

(事務局)

- ・ホテル会場の特産品体験、試食コーナーをもっと賑やかにしたいと思うがどうか。

(留学生)

- ・初日は来るはずだった団体が遅れてきたりする等、予想外の事が起きて混乱した。二日目は初日より上手くできたと思うが、事前に添乗員に手筒花火を紹介しておき、観光客は添乗員から薦めてもらおうと安心して見にいけるのではないか。ホテル会場では、もう少し賑やかな雰囲気を作ると観光客自ら入って来るようになり良いのではないか。観光客は、少し緊張していた。
- ・特産品のコーナーは、物を売りたいのか、特産品を紹介したいのか分からなかった。中国人留学生であっても日本人のために行っていると思われるところもあった。観光客から試食すると買わなければならないのかと聞かれた。

(事務局)

・中国人に喜んでもらえる物を探していた。たくさんの方の声を聞きたいので、通りすぎていく人を呼んで感想をもらおうとした事が押し売りになってしまったのかもしれない。それは反省したい。

○地域資源モニター調査について

①二川宿本陣資料館

(留学生)

・体験できることがよかった。日本の歴史を体験したい人はいると思う。見るだけとは違う。

(事務局)

・日本の歴史とは、人物ではなく建物や生活が見られることがよいのか。

(留学生)

・そうである。日本について知らない人は多いが、中国と関係のある平安時代、明治時代は知っている人がいる。

(事務局)

・日本と中国を繋ぐ歴史は何か知っているか。坂本竜馬や西郷隆盛に興味はあるか

(留学生)

・鑑真と徐福が挙げられる。
・坂本竜馬などの話を聞いて面白いとは思いますが、もっと知りたいとは思わない。
・当時の歴史的な生活等が見たい。沖縄の琉球村みたいな所が良い。
・中国からのツアーは、ほとんど京都、奈良の有名なお寺等の観光地を廻り、写真を撮るだけである。中国人にとっては「日本はお祭りの国」というイメージを持っているが、それを活かさず観光スポットばかりではもったいない。豊橋の良い所を知ってもらい、人々の生活に関わる祭りを体験してもらった方が印象に残ると思う。

②愛知大学記念館

(留学生)

・孫文に興味があった。
・孫文は歴史教科書に民主主義の先駆者として紹介される。毛沢東への批判はあるが、孫文は共産党・国民党から革命の父とされているので、絶対に批判されない。
・南京、中山陵に孫文の関係する場所があり、観光客はたくさん訪れている。

(事務局)

・海外で孫文に関わりのある場所は愛知大学以外にあるか。

(留学生)

・ホノルルにある。孫文が革命に失敗し海外で生活していた事があり、中国人はホノルルに行くと訪れると思う。

(事務局)

・愛知大学記念館の展示物を見る価値があるか。また、孫文との関係はいつ頃知ったか。

(留学生)

- ・「愛知大学に行こう」というのではなく「孫文を見に行こう」という方が良い。
- ・豊橋に来てから孫文の関係を知った。

(事務局)

- ・孫文のお土産が売っていれば、観光客は買うか。

(留学生)

- ・何とも言えない。買わないかもしれない。

③豊橋カレーうどん

(留学生)

- ・食べたいと思わない。
- ・食べた事があり、美味しいと思う。トロンとした食感が好きである。
- ・中国では、とろろは食べたことなかった。

(事務局)

- ・カレーうどんを食べたいと思わない理由は何か。

(留学生)

- ・食感がよくないと思う。麺とご飯を混ぜて食べるのはおかしい。中国人は丼ぶりが好きではない。ご飯が汚れて、ご飯の味が無くなる。
- ・中国人でもいろいろで、私は好きである。中国には丼ぶりはないが、丼にするとご飯が美味しくなると思う。

④豊橋の食

(事務局)

- ・豊橋で一番好きな食べ物は何か。

(留学生)

- ・メロンである。他の地域に比べて安くて美味しい。
- ・柿も美味しい。中国の柿とは比べ物にならない程美味しい。中国の柿は熟す前に取って加工をして熟させるので、苦みや渋みが残っている。
- ・柿の種類によって違う。干し柿は中国もおいしい。
- ・モニター調査で鰻を食べて美味しかったので、写真をブログに載せたら、友達から「美味しそう、食べたい」と言われた。中国には、かば焼きのような焼き方は無く（鰻をご飯に載せない）、煮たり揚げたり炒めたりして食べる。味付けは辛い物が多い。
- ・中国の南部地域では、揚げた食べ物は体に良くないという考え方があり、トンカツは好きな味かもしれないが、遠慮する人が多いと思う。

⑤日本食

(事務局)

- ・日本に来て、1回だけ食事をするならば、ラーメン・寿司・吉野家の牛丼のどれか。

(留学生)

- ・寿司である。日本食と言えば刺身・寿司を連想する。

(事務局)

- ・うずらは中国では食べられているのか。ニワトリとアヒルの卵はどちらが好きか。

(留学生)

- ・うずらは肉も卵もよく食べる。
- ・アヒルの卵は漬物のように塩辛いので、お粥と一緒に食べる。ニワトリの卵はよく食べるが、生では食べない。
- ・日本の卵は新鮮で臭みがない。中国の卵は新鮮でなく臭みがある。

(事務局)

- ・中国人は生ものを食べないが、刺身を食べる時に不安はないのか。

(留学生)

- ・人により異なるが若者は気にしない。生で食べることが日本料理である。

(事務局)

- ・魚市場の中または付近に刺身が美味しく食べられる食堂があると人気は出るか。

(留学生)

- ・人気になると思う。屋台のような感じで食べられると良い。
- ・観光する場合、そこでしか食べられない物を食べたい。刺身はどこでも食べられる。昨年親戚が日本にツアーで来たが、食事場所は焼肉の食べ放題で、私から見ると捨てる位の物であったが皆おいしいと食べていた。寿司を焼いて食べているのは驚いた。

⑥山佐染工所

(留学生)

- ・体験時間は、1時間位が良いと思う。手筒花火を見に行くと皆が刺子を着ているので、手筒花火を見た翌日に山佐染工所に行くの良いのではないかと。デザインはほぼ決まっていると思うが、自分の名前を入れる事ができるなど少しプラスできれば、より印象に残るのではないかと。
- ・中国人にとって浴衣がとても魅力的である。浴衣を買いたいという観光客が多い。祇園祭などのように浴衣を着て、見学できれば魅力的だと思う。そのようなツアーがあれば中国の旅行会社も積極的に利用してくれると思う。
- ・刺子は買わないかもしれないが、前掛けとかばんのような軽くて小さい物は買うのではないかと。
- ・お土産として 5000 円程度は支出すると思う。日本のツアーに参加する人はお金を持って来るので、自分の思い出になるようなお土産を買う事にはお金を惜しまないと思う。ものを飾ることや、自慢話をするを好む。ただ、刺子は重くて高い。

(事務局)

- ・中国人が好む文字としては何があるのか。

(留学生)

- ・日本らしい「富士山」とか「桜」等が良いのではないかと。
- ・浮世絵がよいのではないかと。

(事務局)

- ・ホテル日航豊橋で、手筒花火の T シャツを販売しているが、中国人は買うと思うか。

(留学生)

- ・買わないと思う。日本の特色のある物は買うが、Tシャツはどこでも買える。

⑦ショッピング

(事務局)

- ・夜間は宿泊施設の近隣は閉まっている店が多く、あまり買う物がなかったのではないかとと思うがどうか。

(留学生)

- ・宿泊観光客の不満になっている。中国の都市部では22時まで営業しているが、日本は早い時間に閉店し真っ暗になっている。

(事務局)

- ・ドンキホーテに来る外国人観光客は、時間帯は22時～23時である。時期によっては宿泊施設でハッピーや刺子の即売コーナーを作るとよいのではないか。ホテル日航豊橋へ宿泊する場合、隣のスギ薬局に買い出しに行っているがどう思うか。

(留学生)

- ・薬局で買うと安くなるので買いに行く。東京では電器屋になる。お土産のお菓子は最後に空港で買うのではないか。
- ・お土産の化粧品を買うために行っている。スギ薬局には中国人スタッフがおり、アナウンスも中国語がある。近隣の商店も22時まで営業すればよいのではないか。
- ・ヤマダ電機に行く人もいるが、ヤマダ電機の存在を知っている人が少ない。添乗員が説明すれば、ヤマダ電機に行くと思う。旅行会社によって連れて行きたい所があり知らせないようにしているのかもしれない。

(事務局)

- ・秋葉原のヤマダ電機は中国用の製品(200v)を置いているが、豊橋は日本用(100v)の製品しか販売していないのが現状である。22時～24時まで営業している店をピックアップし、ホテルが巡回するシャトルバスを出せばよいのではないか。

(留学生)

- ・宿泊施設に早く着いた観光客からは、つまらないという意見もあった。

⑧福井酒造

(留学生)

- ・お酒がどのようにできるか知ることができた。中国では見た事がない。
- ・日本酒はアルコール度が低いのでおいしくないと言われている。親戚にあげたら、おいしくない・水みたいと言われた。
- ・こってりとした中国の料理とは合わない。梅酒は人気があるので、帰国する時は毎回買って帰る。

⑨三河港地区

(留学生)

- ・自動車がたくさんあり驚いたが、観光スポットとしては難しいのではないか。

⑩三の丸会館

(留学生)

- ・心の落ち着く場所なので、旅行の中に1箇所でもそういう場所があるのは良いのではないか。二時間位リラックスするのもよいのではないか。
- ・中国のお茶と日本のお茶は違うので、飲んでみると新鮮である。
- ・名古屋城、大阪城等を見学するので、わざわざ豊橋で吉田城を見ようとは思わない。

⑪路面電車

(留学生)

- ・路面電車に乗るよりも、路面電車の写真を撮る方が良いかもしれない。
- ・路面電車を運転することができるのであれば、皆喜んでくれるのではないか。中国では運転体験をすることは絶対にありえない。

⑫スマートボール

(留学生)

- ・面白かった。パチンコは行った事がないが、行ってみたいと思う。
- ・パチンコ店は23時まで営業しているためよく行っている。日本の映画やテレビ番組でパチンコのシーンがあるので、日本に来たら一度体験してみたいと思うものである。

(事務局)

- ・ギャンブルはパチンコのほかに競輪、競馬があるが、興味はあるか。

(留学生)

- ・あまり興味がない。

⑬自然歩道

(留学生)

- ・時間に余裕があればよい。
- ・花菖蒲の見学をツアーの中に入れて体験してもらうのもよいのではないか。菜の花と桜のような風景は行ってみたいのではないかと思う。
- ・中国にいた時は、日本人が桜・桜と言うのは理解できなかったが、実際に日本に来て、桜を見た時は感動した。
- ・中国では河南省に牡丹が有名な場所があり、観光地ツアー場所となっている。

⑭ちくわ料理

(留学生)

- ・広東料理の味に近いので、広東出身の人は好きである。
- ・焼いて食べる体験は特に必要ないと思う。

(2) 地元企業へのヒアリング結果

豊橋市では、地域資源モニター調査の終了後、産業創出の可能性を探るために、調査に参加いただいた事業者を主な対象としたヒアリングを実施し、各事業者のインバウンド誘致に関わる意識や受け入れ体制とその課題について意見・意向等を確認した。

実施期間 平成24年1月10日(火)～1月27日(金)

対象者数 12社

ヒアリングの結果、多くの事業者は豊橋市に中国人をはじめ多くの外国人観光客が宿泊していることを知っていたが、外国人観光客への直接的な販売は一部の事業者にしか実績がないことが分かった。

また、約6割の事業者が外国人観光客への特産品の販売、宿泊や見学による受け入れを行ないたいと回答したが、日頃より観光客の受け入れを行っている事業者が少ないため、「販売スペースが狭く、多くのお客様を受け入れるのは難しい」「通訳がないため言葉の問題が不安」「現状の施設では受け入れできない」等の課題も浮かび上がった。

しかし、これらの事業者の中には、インバウンド客への販売や受け入れに対する意欲が旺盛であり、「積極的に取り組みたい」「言葉はできなくても販売は可能」など積極的な意見も見られた。また、インバウンドについて、「何か取り組みたいが何から始めてよいのか分からない」「ホテルに滞在している中国人観光客へのセールスの仕方が分からない」という意見も聞かれ、特産品など購買意欲の高い外国人観光客が近くにいるにもかかわらず、それら特産品を取り扱う事業者との接点がないというアンマッチの状況があることが把握できた。

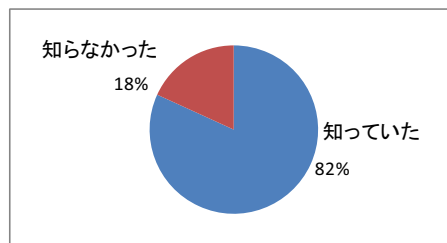
今後、豊橋市及び豊橋観光コンベンション協会としては、これら観光客と事業者の橋渡しを行なうコーディネートが必要であると実感した。

このヒアリング結果により、多くの事業者のインバウンドに対する期待は大きく、その障壁となる課題をクリアにすることによりインバウンドによる産業創出の可能性があると分かった。

【ヒアリング結果】

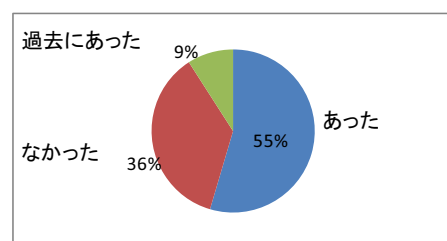
1. 豊橋市にこれだけ多くの外国人観光客が訪れていたことを知っていましたか。

	回答数	回答率
知っていた	9	82%
知らなかった	2	18%
計	11	100%



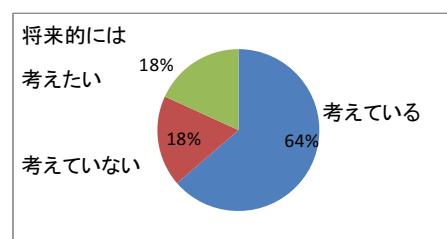
2. 直近1年間に外国人観光客への販売、受け入れ等の実績がありましたか。

	回答数	回答率
あった	6	55%
なかった	4	36%
過去にあった	1	9%
計	11	100%



3. 今後、外国人観光客への販売、受け入れ等を行いたいと考えていますか。

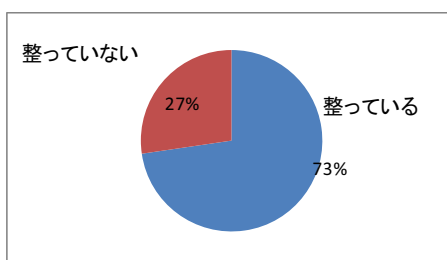
	回答数	回答率
考えている	7	64%
考えていない	2	18%
将来的には考えたい	2	18%
計	11	100%



- 特に外国人観光客だけを意識してはいない。
- お越しいただく方であればどなたでもよい。
- 現状では、受注生産しか行っておらず、小売販売をしたいとは考えていない。

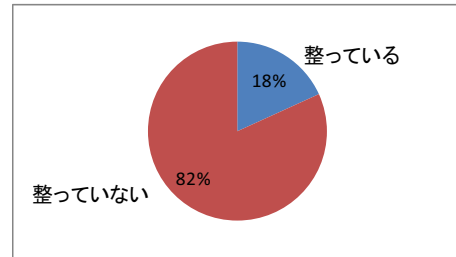
4. 日本人観光客を受け入れる体制が整っていますか。

	回答数	回答率
整っている	8	73%
整っていない	3	27%
計	11	100%



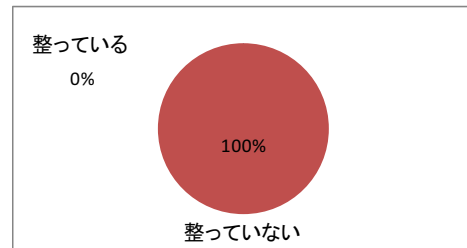
5. 外国人観光客を受け入れる体制が整っていますか。

	回答数	回答率
整っている	2	18%
整っていない	9	82%
計	11	100%



6. 外国人観光客を受け入れる販売ルートが整っていますか。

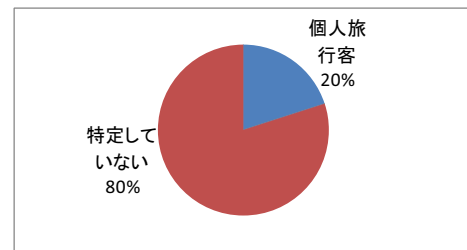
	回答数	回答率
整っている	0	0%
整っていない	11	100%
計	11	100%



- 銀聯カード等ハード面や通訳などソフト面の体制は、整っていないが、日本人観光客同様、受け入れは可能である。
- 受け入れたいと考えているものの、受け入れるための販売ルート等が確立されていない。

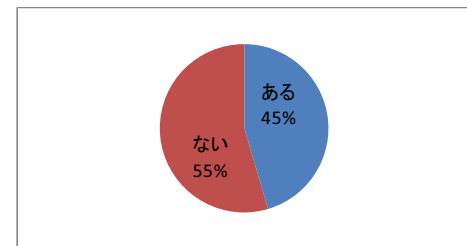
7. どのような形態の観光客を受け入れたいですか。

	回答数	回答率
団体旅行客	0	0%
個人旅行客	2	20%
教育旅行客	0	0%
業務視察	0	0%
特定していない	8	80%
計	10	100%



8. 観光客への販売、受け入れ等やってみたい（トライ）ことありますか？

	回答数	回答率
ある	5	45%
ない	6	55%
計	11	100%



- 宿泊客へもっとアプローチしたい。
- 具体的ではないができることは何でもトライしたい。
- 設備面で問題があり大きな声で呼び込む状況にないが、将来的には考えていく必要がある。
- 店構えを改築し、現在の作業場的な雰囲気を換え、対面販売できるようになるとよい。

9. 外国人観光客を受け入れるにあたっての課題は何ですか。

- 通訳がないのが不安。
- 売り上げに貢献できるので取り込みたいが、店舗コンセプト上、予算を投下しての展開は難しい。費用をかけずに何かできればよい。
- もっとホテル側とタイアップできればよい。
- 言葉の問題もあり、説明の仕方がない。
- 店舗スペースが狭い。
- テナントさんの意識改革が必要。
- 将来的には必要なことも知れないが、現状では設備的な問題がある。
- 何をしたらよいのか分からない。

10. その他、ご意見

- 豊川稲荷、ラグーナ蒲郡など観光地も近い。何かタイアップできたらよい。魅力がないわけではないが、訪問時間などかみ合わない。(魚市場)
- ホテルロビーでの実施内容は、特産品販売だけでもよいのでは。手筒を見に行く
と販売できる時間が限られてしまう。
- 外国人への販売は英語ができれば、中国人観光客であっても対応可能だ。
- 豊橋での観光客への販売のみならず、外国での販売を拡大していきたい。
- 真空パックでの販売でもあり、売上につながり良かった。
- 中国人は手渡しによる販売より、ショーケースに置いてあるものを販売する方が
いいようだ。
- 団体ツアーでは販売手数料を求められる。過去、手数料に見合うだけの売り上げ
がなかった。

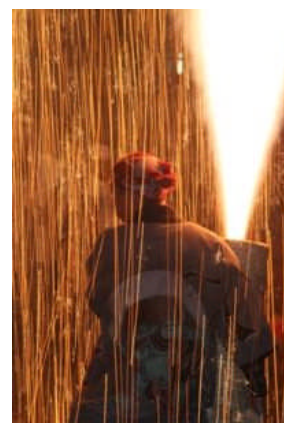
5 観光ルートの提案

地域資源モニター調査の結果を基に、特に評価の高かった地域資源を絞り込み豊橋市へ滞在する場合の滞在時間別ルート及びテーマ別ルートを下記のとおり提案する。

(1) 短時間滞在ルート

豊橋市の滞在が短時間であっても、他地域を上回る魅力のある「手筒花火の観賞」、日本の伝統が体験できる「刺子の工場見学」をすることができる。

手筒花火は、国慶節モニター調査参加者から他地域にはなく見たことのない迫力ある花火であり、揚げ手の勇気に感動するなど高い評価を得た。刺子は、地域資源モニター調査参加者から、日本の伝統文化を直に感じることができるとや中国人が好きなお祭りのイメージに合うことなどからも高い評価を得た。短時間滞在の場合、いかに豊橋市が誇る評価の高い地域資源を感じてもらうことが重要となるが、ここで提案する短時間滞在ルートはゴールデンルート商品への組み込みが充分可能であると考えられる。



1時間ルート①	<p>豊橋1日目： 京都(富士箱根)→18:00豊橋市内(夕食) → 19:00「手筒花火観賞」→「ホテル」</p> <p>豊橋2日目： 9:00ホテル → 富士箱根(または京都)へ出発</p> <p>※ 豊橋市滞在前後のご予定は、東京・大阪間を移動する旅程を想定している</p>
---------	--

1時間ルート②	<p>豊橋1日目： 京都(富士箱根)→19:00豊橋市内「夕食、ホテル」</p> <p>豊橋2日目： 9:00ホテル → 9:30「山佐染工所(刺子)」→ 10:30富士箱根(または京都)へ出発</p> <p>※ 豊橋市滞在前後のご予定は、東京・大阪間を移動する旅程を想定している</p>
---------	--

実施にあたっての留意点として、刺子の工場見学は受入態勢を考慮する必要がある。工場内の見学スペースに限りがあるため、団体客の場合は分散して見学する必要がある。また、当該工場で刺子や前掛け等を購買できる環境を整える必要がある。工場見学後は購買意欲が高くなることが想定され、販売の機会を逃さないようにする必要がある。



購買品は帰国後の家族、友人等への口コミにつながり、当該口コミが新たな口コミを呼び、新たな誘客につなげていくことができるとともに、豊橋市のブランディングへもつながるものである。

(2) 半日または1日滞在ルート

地域資源モニター調査で参加者から評判のよかった地域資源として、昔（江戸時代）の日本の生活文化が体験できる「二川宿本陣資料館」がある。他地域の宿場町も外国人観光客からの評判は高く、豊橋市でも一層アピールを進めていく地域資源である。そのほか、豊橋市の新しい食として売り出し中の「豊橋カレーうどん」、日本全国で17箇所のみでの走行となり、豊橋の生活文化となっている「路面電車」など、(1)の短時間滞在ルートにさらなる魅力を付加した豊橋を体験してもらうことができる。路面電車は、夏季限定でビールを飲むことができる「ビール電車」、冬季限定でおでんを食べることができる「おでんしゃ」がある。運行本数限定商品ではあるが、新たな滞在メニューとしてアピールすることにより、豊橋ならではの魅力が増していくものと考えられる。



半日ルート	<p>豊橋1日目： 京都(富士箱根)→19:00豊橋市内「夕食、ホテル」 豊橋2日目： 9:00ホテル → 9:30「山佐染工所(刺子)」 → 11:00「二川宿本陣資料館」 → 12:00「豊橋カレーうどん(昼食)」 → 富士箱根(または京都)</p> <p>※ 豊橋市滞在前後の予定は、東京・大阪間を移動する旅程を想定している</p>
1泊2日ルート	<p>豊橋1日目： 他地域→ 14:30「山佐染工所(刺子)」 → 16:00「二川宿本陣資料館」 → 18:00豊橋市内「夕食、ホテル」 豊橋2日目： 9:00ホテル → (路面電車) → 10:00「三の丸会館」 → 12:00「豊橋うなぎ(昼食)」 → 13:30「福井酒造」 → 他地域</p> <p>※ 豊橋市滞在前後の予定は、他地域から他地域へ移動する多様に対応できる行程を想定している</p>

実施にあたっての留意点として、各施設の受入態勢を考慮する必要がある。各施設とも見学、体験スペースに限りがあるため、団体客の受入方法を検討する必要がある。特に、昼食会場は、一度に団体観光客全員で食事をすることは難しく、複数店舗間での連携が必要となる。また、日本語が話せる同行者(添乗員等)は少ないことが想定され、施設側の言語対応が必要となる。そのほか、(1)短時間ルートの留意点と同じく、見学、体験施設において購買できる環境を整える必要がある。訪日中国人観光客が購買したいと考えても購買できないことは豊橋市、日本への経済効果を考慮すると残念なことである。見学、体験施設または豊橋市内での購買可能な仕組みを構築していく必要がある。



(3) テーマ別ルート

ゴールデンルートを旅行する訪日中国人観光客は、有名観光地を巡る行程との兼ね合いから、一施設を十分に体験できていない場合もある。

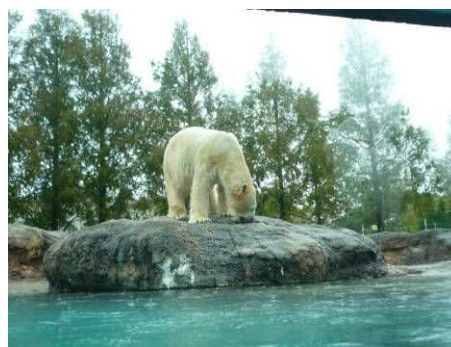
このような中で複数回訪日する中国人観光客は、時間をかけて日本を味わいたいと考えていることが多い。(1)及び(2)の滞在時間を念頭にしたルート設定とは異なり、滞在テーマを念頭にしたルートを2種類作成した。



具体的には、訪日中国人観光客が豊橋ならではの特定テーマによる味わいを体験できるように、茶道など日本らしさを体験できる三の丸会館等を行程に入れた「和を味わうことを中心としたルート」および地引網体験、当該体験で得た魚の調理・昼食の体験を行程に入れた「活動的に体験することを中心としたルート」を選定した。両ルートに掲載されている地域資源は、地域資源モニター調査参加者からの評価も高く、また、豊橋を代表する地域資源であり、訪日中国人観光客へアピールすることができるものである。

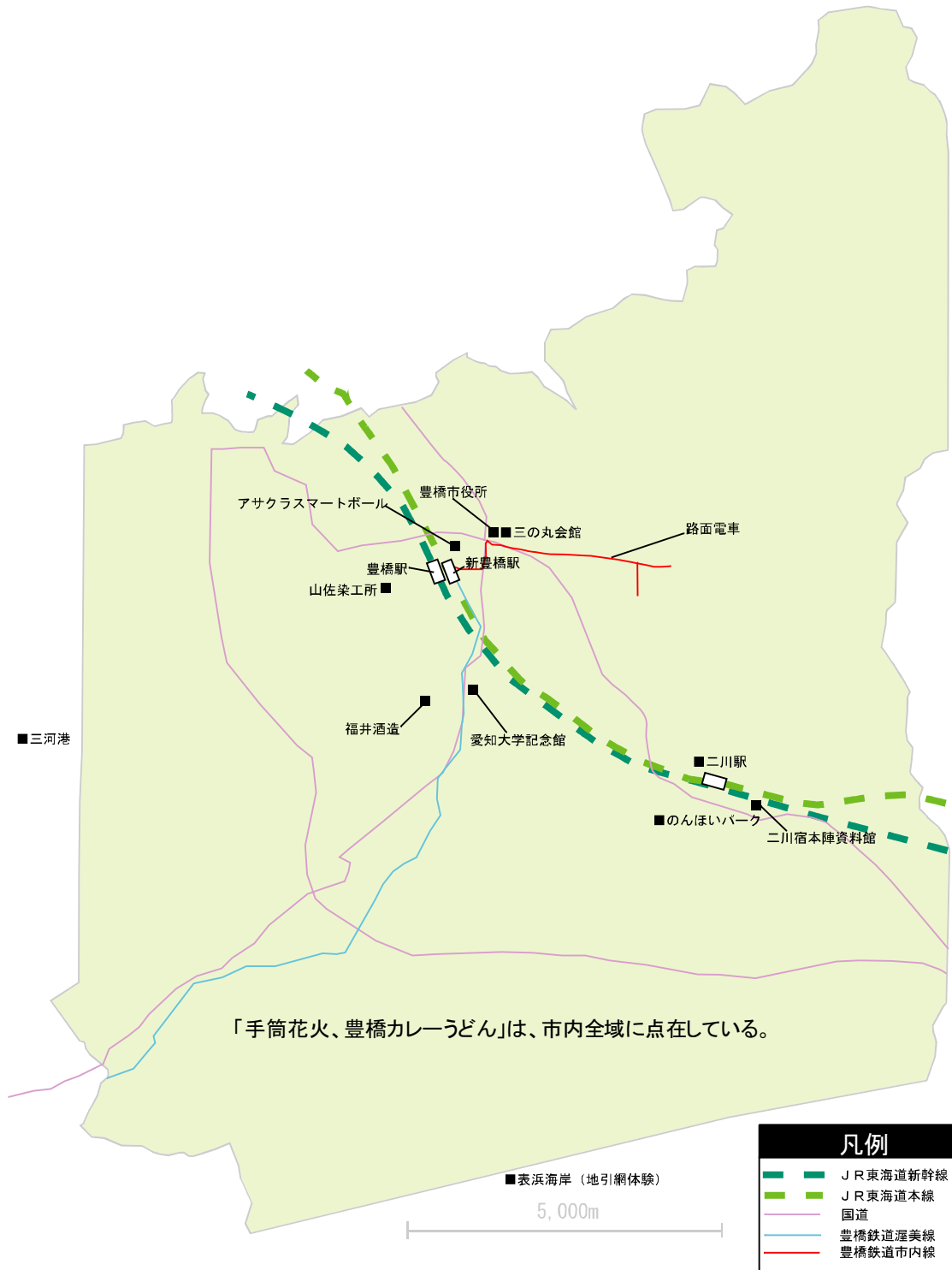
和を味わう ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・午前: 9:00豊橋駅 → (路面電車) → 9:30「三の丸会館」 →12:00「豊橋うなぎ(昼食)」 ・午後: 13:30「山佐染工所(刺子)」→ 15:00「愛知大学記念館(孫文資料館)」 → 16:00「福井酒造」→「夕食、ホテル」→ (19:00「手筒花火」)
アクティビティ ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・午前: 9:00豊橋駅 → 9:30「のんほいパーク」 ・午後: 12:00「表浜海岸(地引網体験による昼食)」→ 14:00「二川宿本陣資料館」 → 16:00「アサクラスマートボール」→「夕食、ホテル」

実施にあたっての留意点として、各施設の営業、実施状況を周知することが必要である。表浜海岸での地引網体験は、地引網体験を提供する実施団体、地引網により収穫した魚の調理をする団体等との調整を行い、催行可能日を決定する必要がある。また、魚が収穫できなかった際には、寿司の提供を別途行うなどの対応策を検討する必要がある。



また、のんほいパーク、表浜海岸など屋外での移動、見学をする必要がある場合、悪天候時の代替資源などを検討する必要がある。

(4) 地域資源紹介図



(5) 地域資源の紹介

手筒花火

手筒花火とは、揚げ手が花火の筒を脇の横に両手でしっかりと抱えるように持ち、数10メートルもの巨大な火柱を噴出させ、最後に「ハネ」と呼ばれる炎が、大砲の原理と同じ大音響とともに足元に噴き出す勇壮な煙火で、日本一迫力のある花火と呼ばれている。

豊橋市は、この手筒花火の発祥の地である。



●住所	豊橋市内各所	●アクセス	会場により異なる
●時間	概ね17時～21時	●定休日	月曜日から金曜日、11月から2月
●入場料	無料	●駐車場	会場により異なる

刺子（山佐染工所）

刺子とは、豊橋伝統の三河木綿を活用した服であり、手筒花火の揚げ手や消防士などが着用している。また、日本全国からも注文が殺到し、屋号・商品名・所在地など多種多様に染め抜かれている。

日本で大人気の刺子の制作工程は、山佐染工所で見学することができる。



●参加者の声
お祭り用から店や商品を宣伝するためのものまで様々にあり、日本ならではの雰囲気を作り出すための最適品だと思う。
社会が発展していく中で伝統技術をきちんと守るのはすごい。

●住所	豊橋市 西羽田町5	●アクセス	(豊鉄バス)築地橋バス停徒歩2分
●時間	9時～17時	●定休日	土曜日、日曜日、祝祭日
●入場料	無料	●駐車場	あり
●その他	事前申込が必要		

二川宿本陣資料館

江戸時代(今から約200年前)の身分が高い人(大名)の宿・本陣と庶民の宿・旅籠屋がセットで見学できる日本で初めての施設である。

施設では、江戸時代の文化を見学できるほか、浮世絵刷りや双六ゲームなどが体験でき、江戸時代の旅を楽しく学ぶことができる。



●参加者の声

日本の江戸時代に、どんな服を着て、どんな飾りを使っていたのか、どんな生活をしていたのか分かった。
浮世絵の体験は面白い。

●住所	豊橋市二川町中町65	●アクセス	(東海道本線)二川駅徒歩10分
●時間	9時30分～17時	●定休日	月曜日(祝祭日の場合は翌日)
●入場料	400円	●駐車場	あり

豊橋カレーうどん

麺とごはんで二度おいしい豊橋発祥のご当地グルメで、豊橋市内の約50店舗で食べることができる。

店舗間で、うどんは自家製麺、生産量日本一の豊橋産うずら卵を使用するなど共通の守りことがある。



●参加者の声

特徴がある日本っぽいお茶碗。こだわりの味があり、食べないと一生悔いが残る。

●住所	豊橋市内各所	●アクセス	概ね最寄バス停から5分
●時間	概ね11時～20時	●定休日	店舗により異なる
●料金	約800円	●駐車場	概ね「あり」

路面電車

全国で17都市でしか走行していない日本でも貴重な電車。豊橋では、約90年前に開通し、豊橋市民の通勤や通学、買い物などに向かう市民の足として活躍している。沿線には、鉄道線路の中では世界最大級のカーブもある。冬期間にはおでんを食べられる「おでんしゃ」、夏にはビールを飲める「ビール電車」を運行している。



●参加者の声
全国でわずかに17カ所しかない路面電車の1つとして豊橋独特の観光スポットである。

●住所	豊橋市内各所	●アクセス	豊橋駅下車すぐ
●時間	6時～23時	●定休日	なし
●運賃	150円(12歳以下80円)	●駐車場	なし

三の丸会館（豊橋公園）

豊橋を代表する公園の一角に佇む静かな和の空間を感じることができ、手入れの行き届いた庭を眺めながらいただく一服のお茶は、しばし時間を忘れさせてくれ、くつろぐことができる。お茶の入れ方を教わることもできる。桜の時期は見ごたえ抜群の景色である。



●参加者の声
景色を眺めながら、日本茶道の静寂を味わえる。日本人の心づかいが感じられ非常に良かった。

●住所	豊橋市今橋町3-1	●アクセス	(路面電車)豊橋公園前徒歩5分
●時間	10時～16時	●定休日	第3月曜日
●入場料	380円(茶菓子代)	●駐車場	あり

豊橋うなぎ

豊橋市のうなぎ生産団体は、全国に先駆け、トレーサビリティの開示、無投薬養殖への取組、養殖を地下水のみで行うなど安全・安心な養殖に取り組んでいる。

豊橋うなぎは、蒸してから焼く関東風と、焼き一本の関西風を両方のお店で提供している。



●参加者の声
食器がきれいで、料理もきれいに盛り付けてある。目で楽しむこともできる日本料理である。

- | | | | |
|-----|-----------|-------|-------------|
| ●住所 | 豊橋市内各所 | ●アクセス | 概ね最寄バス停から5分 |
| ●時間 | 概ね11時～20時 | ●定休日 | 店舗により異なる |
| ●料金 | 約1,000円 | ●駐車場 | 概ね「あり」 |

愛知大学記念館

100年前の明治時代の風格が漂う大学記念館(旧本館)は、木造の長い廊下を歩いてみれば、愛知大学の歴史が足もとから伝わってくる。

記念館には、中国の孫文・辛亥革命との関連資料など、他に類のない資料を所蔵している。中国の方には是非見学してほしいスポットである。



●参加者の声
中国の歴史に興味がある人に対して、学びのチャンスだと思う。

- | | | | |
|------|-----------------------------|-------|-----------------|
| ●住所 | 豊橋市町畑町1-1 | ●アクセス | (渥美線)愛知大学前駅徒歩1分 |
| ●時間 | 10時～15時 | ●定休日 | 月曜日、日曜日、祝祭日 |
| ●入場料 | 無料 | ●駐車場 | なし(要相談) |
| ●その他 | 大学が休みとなる期間(夏季冬季)は、施設も休みとなる。 | | |

福井酒造（日本酒）

日本酒とは、米を発酵させて作る、日本の伝統的なお酒である。
 福井酒造は、敷地内にある井戸で酒を仕込み始めてから100年の歴史を持ち、日本酒造りの生命線となっている。
 日本酒を造る工程などを見ることができる。



- 参加者の声
 日本のお酒、独特のおいしさを知るのにいい所である。
 試飲できておいしいお酒が楽しめる。

●住所	豊橋市中浜町214	●アクセス	(渥美線)南栄駅徒歩10分
●時間	10時～17時	●定休日	日曜日
●入場料	無料	●駐車場	あり
●その他	事前申込が必要		

のんほいパーク

動物園、植物園、自然史博物館、遊園地の4つのゾーンが一緒になった、日本でも珍しいテーマパークで、子どもから大人まで楽しめる憩いのスポットである。

動物園内にあるホッキョクグマの餌やり(ダイビング)は、旭山動物園(北海道)のモデルとなった。



- 参加者の声
 動物と植物の両方が見られるのは魅力。子供連れて日本に旅行する人にとっては、一番良い観光所である。

●住所	豊橋市大岩町大穴1-238	●アクセス	(東海道本線)二川駅徒歩6分
●時間	9時～16時30分	●定休日	月曜日(祝祭日の場合は翌日)
●入場料	600円(12歳以下100円)	●駐車場	あり

表浜海岸（地引網体験）

太平洋に面して約51km続く白い砂浜海岸である。
6月から8月には、アカウミガメが産卵に来る。
4月から11月は地引き網が楽しめる。



●参加者の声
海岸の中に砂でできた道路を初めて見た。
海に近く、海からの自然を感じる。

●住所	豊橋市小松原町ほか	●アクセス	バス、タクシー等を利用する
●時間	10時～15時	●定休日	なし
●入場料	要相談	●駐車場	あり
●その他	事前申込が必要		

スマートボールアサクラ

スマートボールは、ビー玉を飛ばして穴に入れるゲームで、誰でも簡単に始められる日本独特のゲームである。日本全国で3店舗のみで体験することができる。
店主の雰囲気もよく、ゲーム体験の喜びに加え、豊橋の人情味も感じとることができる。



●参加者の声
これは日本だけのものだと思う。日本のゲームはおもしろかった。安くて楽しい遊び場として紹介したい。

●住所	豊橋市松葉町1-22	●アクセス	豊橋駅徒歩2分
●営業時間	10時～16時	●定休日	水曜日
●料金	100円(25玉)	●駐車場	なし
●その他	18歳未満は入場できません。		

資料編

資料編

1 自治体と大学の連携について

(1) 豊橋市における大学との連携状況

①大学と地域が連携したまちづくりの取組の意義

市民の多様なニーズに応えながら地域振興を図るため、大学の地域における知的拠点としての重要性がますます高まっている。まちづくりの課題に関する研究、まちづくりを支える人材育成、社会人教育、都市の賑わい・活力の源泉である学生の存在とそのエネルギー、留学生等との国際交流の機会の提供、まちづくりと調和したキャンパスの形成、施設開放等、大学は地域にとって多面的な存在価値があり、これらをまちづくりに活かすことが求められている。

また、大学側にとっても、地域への貢献を通じ、地域における存在価値・評価を高めることができ、地域を教育のフィールドとして活用することにより、特色ある実践的・効果的な教育を行うことができる等、競争力の強化を目指す大学と自立・発展を目指す地域の双方が共に発展し地域全体の活力が向上する好循環の構築が期待される。

上記のようなことから、内閣総理大臣を本部長とする政府の都市再生本部では、平成 17 年 12 月に、「大学と地域の連携協働による都市再生の推進」を都市再生プロジェクトとして決定し、政府としてこうした取組の促進を図っている。

②豊橋市における各大学との連携・協力に関する協定（包括協定）について

豊橋市では大学との連携を積極的に進め、大学内の知的資産や人材等を活用することにより、本市の政策推進、および人材育成や個性豊かで生き活きとしたまちづくりの推進に取り組んでいる。平成 17 年 11 月に「大学と地域が連携したまちづくりワークショップ イン 豊橋」を開催。平成 18 年に大学と地域が連携してまちづくりに取り組む地域間の情報・意見交換のネットワーク構築を目的に設立された「大学地域連携まちづくりネットワーク」の発起人（全国 8 地域の地方公共団体と大学）でもある。

豊橋市は、市内各大学（豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学）との間で、産業振興、生涯学習、文化、福祉、まちづくりなどの多様な分野で相互に連携・協力し、地域社会の発展と人材の育成を図るための協定を締結している。

【豊橋市における大学との連携・協力に関する協定（包括協定）について】

平成 17 年 3 月 30 日	豊橋技術科学大学との包括協定締結（4 月 1 日発効） 豊橋技術科学大学との地域連絡協議会設置
平成 17 年 7 月 11 日	愛知大学との包括協定締結（同日発効） 愛知大学との地域連絡協議会設置
平成 17 年 11 月 8 日	「大学と地域が連携したまちづくりワークショップ」開催 （主催：都市再生本部・豊橋市・豊橋技術科学大学・愛知大学・豊橋創造大学）
平成 18 年 2 月 8 日	豊橋創造大学との包括協定締結（同日発効） 豊橋創造大学との地域連絡協議会設置

③大学との連携状況について

豊橋市では、市民の高度な学習ニーズに対応するため、大学の専門分野で講座を開講し、市民に対し高度な学習機会を提供する「市民大学トラム」や市図書館と各大学図書館の資料を相互利用することにより豊橋市内における図書館奉仕の向上を図る「図書資料の相互貸借事業」等他分野にわたり事業を行っている。平成 23 年 4 月現在、大学との連携事業は 29 事業となっている。

④豊橋市と包括協定を締結している各大学における地域づくりの取組について

A 豊橋技術科学大学

ア 東三河地域防災研究協議会における地域防災リサーチコア

豊橋技術科学大学は、東海・東南海地震の発生による大規模災害が危惧される東三河地域の自治体とともに、災害に強い地域づくりに資する地域密着型防災対策・技術の調査研究とその成果の応用と地域住民の防災意識啓発を目的とした全国でも初の協議会を平成 15 年 7 月に設立して活動している。この協議会の調査研究実施の受け皿として地域防災リサーチコアを組織し、協議会（地元自治体）が求める調査研究を受託研究として実施し、一方地域防災対策に資する基礎研究の推進にも努めている。

イ 「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」の推進

豊橋技術科学大学では、愛知大学、人間環境大学と連携し、それぞれの得意とする学術領域において、国土省、市町村、地域の公共的団体等と連携して、地域づくりに関わる多様な観点からの学術事業を推進している。研究会を組織し、地域の持続可能な社会づくりのためのソーシャルキャピタル・社会力評価・形成推進や県境を跨ぐ幹線道路整備の経済環境効果計測といった「地域づくり戦略プラン研究」、中山間地定住促進・地域再生について研究する「人材育成・意識啓発アクションプログラム開発」、地域づくり支援 WebGIS の開発といった「特別連携事業」等に取り組んでいる。

B 愛知大学

ア 文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業

地域研究で実績をもつ総合郷土研究所と中部地方産業研究所の研究実績を母体として、新たに設立された「三遠南信地域連携センター」のプロジェクト「グローバルな視点に立った『地域づくり』トータルシステムの開発」が平成17年度に文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業に採択され、GISデータベース事業、学術的共同研究事業、官学連携事業、教育・人材育成事業等を展開している。産官学民のネットワークを構築し、三遠南信地域の調査・研究、地域発展に関わるハブ・センターとして「新しい公共」の創生を目指している。

イ 地域貢献事業

平成23年4月に新設された愛知大学地域政策学部では、地域貢献事業に積極的に取り組んでいる。学生グループで事業の目的、内容、動機、事業スケジュールや予算等を企画し、企画発表会を行う。その後、事業内容を審査し、採択された後に活動を展開し、事業の報告会を開催する。平成23年度は豊橋市のシティプロモーション戦略を若者の視点から支援・評価する「ええじゃないか豊橋推進計画の支援・評価キャラバン活動」、県内の被災者支援に取り組む「つながろう愛知プロジェクト」、中心市街地の衰退の様子を探り、対策を考える「豊橋市中心市街地の賑わい創出の条件を探るー多文化共生の視点を中心としてー」、豊橋市で行われている地域活動について地域住民への周知、活動への参加を促すような風潮づくりに取り組む「豊橋地域交流会」の4事業が採択され、地域貢献事業に取り組んでいる。

C 豊橋創造大学

ア チャレンジショップの展開

豊橋創造大学では、中心市街地の空き店舗に学生主体でのチャレンジショップを企画・運営し、中心市街地の活性化を図っている。これまでに日本茶葉及び関連商品を販売する『茶房 創』の営業や、ファッション・雑貨の企画、販売等に取り組んでいる。また、チャレンジショップのある豊橋広小路商店街や中心市街地の活性化に貢献すべく、地域・商店街に関する情報発信やインターネットを通じたマーケティング活動のサポートに取り組んでいる。

(2) 神奈川県における外国人留学生と連携した観光情報発信について

社団法人神奈川県観光協会（以下、観光協会）は、神奈川県からの委託事業（ふるさと雇用）により県内の外国人留学生からの発信を通じた外国人観光客の誘致強化に取り組んでいる。

①取組の背景

日本を訪れる外国人観光客の約 53%が旅行前にインターネットを使って下調べをしていることから、母国語で外国人の視点で観光地を紹介するサイトへの需要は大きいと見込まれたこと、また Facebook の利用者は全世界で 8 億人ともいわれており、外国人への情報発信手段として有効と判断したことから留学生によるホームページ、Facebook での観光情報発信に取り組むこととした。

②事業の概要

留学生が箱根や鎌倉などの人気の観光地や、日本人には日常の風景だが外国人には珍しいと感じられる町並み等の取材をし、母国語で紹介する記事を平成 23 年 10 月からホームページ「Amazing Kanagawa, a sense of Japan」や Facebook を通じて情報発信をしている。

言語は英語、中国語（簡体字、繁体字）、ハンガルの 4 か国語に対応しており、携わる留学生は韓国、台湾、中国等の出身者で、当初 24 名でスタートしたが、現在は 30 名となっている。

取材先の決定については、なるべく留学生の感じた事、驚きを表現してもらおうということを中心として、留学生が「行ってみたい！体験してみたい！」と思う日本の事物・文化について、観光協会のスタッフと留学生でミーティングを複数回開催し、留学生の要望に沿った神奈川の観光地を提案し、コース化の上決定している。このようなミーティングは平成 23 年の 5 月頃からおよそ 3 か月に 1 回程度の割合で行われている。また、取材先へのアポイントや取材の仕方等で留学生による対応が困難な場合は、観光協会のスタッフから先方への連絡や取材時に同行するなど、随時サポートしながら取り組んでいる。

③成果と今後の展望

留学生という日本人とは違った外国人の視点で、関心のあるもの、買物等についての情報や観光資源の評価が得られるので、新たな発見も多い。

また、Facebook については、県のホームページ Amazing Kanagawa と連動させることで、口コミを通じて幅広い層に広げるねらいがあるが、これまでに 100 カ国以上の国々がホームページを閲覧している。

留学生も多忙なため、土曜日や日曜日といった限られた時間の中でミーティングや取材をしなければならない場合もあるが、やりがいをもち真剣に取り組んでくれている。今後も連携を強化しながら、インバウンド促進に取り組んでいく。

【参考】

観光協会ホームページ「AmazingKanagawa,a sense of Japan」

<http://amazing-kanagawa.jp/>

Facebook

<http://www.facebook.com/pages/Kanagawa-Prefectural-Tourist-Association-Japan/240719192636799>



多言語対応の観光協会ホームページ



留学生に日本文化を体験してもらう様子



情報発信用の写真撮影を行う留学生



服部牧場にて撮影



小田急線「片瀬江ノ島駅」にて撮影

2 高山市視察調査 平成 24 年 2 月 23 日（木）

インバウンド推進の先進自治体として高山市を視察し、官民協働での外国人観光客の受入体制の整備や、シルバー観光ガイドによるおもてなしの向上、今後の海外戦略における方向性等についてヒアリング調査を実施した。

（1）高山市観光課ヒアリング結果

【高山市の考え方】

- ・ 前提として、高山にこれだけの観光客が訪れるのは、パンフレットを配ったからでもなく、ハコモノを造ったわけでもなく、古い時代から歴史的な街並みや自然が残り、地域の人たちが守ってくれた「本物の素材」が多く残っているからである。
- ・ 高山市は観光産業に従事している人の割合が約 6 割であり、観光でやっていかなければならないという必然的に取り組む必要があった。観光の目的地となっていない地域がどこまで観光に入れ込んでいくかについては、市民にきちんと説明し、納得していただける事業展開が必要である。

【取組の契機】

- ・ 昭和 50 年に国鉄が展開したキャンペーン「ディスカバー・ジャパン」で、これを契機とし市内にホテルが建設され、受け入れ体制ができあがってきた。インバウンドは、昭和 61 年に国際観光モデル地区に手を挙げたことがきっかけとなり、3 年にわたり看板等の整備（当初は日本語看板への英語併記のみ）に取り組んだ。受け入れ体制整備のポイントは、いかにスタート時点から民間と取り組んでいくかである。行政はその組織体制からノウハウが蓄積されないという問題がある。民間の方がレベルは高く、市民を含め受け入れ体制をつくり、その内容をグレード UP していく。その支援のために民間事業者を対象とした「飛騨高山国際化おもてなし補助金」を創設した。書道教室の先生が外国人観光客向けの案内を製作する際にこの補助金を活用した例がある。

【観光パンフレット】

- ・ 外国語パンフレットの作製について、代表は散策マップであるが海外からの観光客の多くは英語版があれば問題なかったが、誘客活動を行う中で他の言語のパンフレットも製作した。今ある多言語による散策マップやホームページは、日本語版をそのまま外国語訳しただけのものであるが、国別による見せ方の工夫が必要だと感じている。その傾向については、観光施設や観光地の近所の人からの聞き取りで把握している。見るものは一緒だが、見せ方を変える工夫が必要であり、一人歩きができるよう観光地区の中心から 10 分で歩くことができるエリアを円で囲むなど工夫をしてきた。

【おもてなしの考え】

- ・ おもてなしの考えとしては、観光目的で来てもらった人に満足してもらうことはもちろんだが、観光という目的を持たずに来た人が良かったと思ってもらえるように取り組んでいる。「もてなしの匠・心得帳」を作成し、観光に携わる方のおもてなしの心の醸成に役立てていただいている。

【JNTO との連携強化】

- ・ 日本政府観光局（JNTO）との連携強化にも取り組んできたことで、職員の人事交流もあり、情報が早く入る等の利点があった。
- ・ 観光に関するデータの収集も重要である。観光客の統計は、宿泊人数、方面別、国別について旅館・ホテルに聞いている。高山祭の来場者数のカウント方法は、列車の乗車人員及び市内に国道を使って入る車の台数を元にカウントしている。経済への波及効果を調査したところ、日本の一般的な平均値は2倍といわれるが、2.33倍という数値が出た。観光客入れ込み数から、経済的にどれだけ波及効果があるかを検証することで、市民の理解も得られる。

（2）飛騨・高山観光コンベンション協会ヒアリング結果

【危機感からの展開】

- ・ 観光誘致の取組は、当時の国鉄、JR とからみながら、観光客数 300 万人を目標に掲げ展開してきたが、昭和 56 年の豪雪の際に観光客数の大きな落ち込みがあり、この時の危機感から様々な展開を行ってきた。平成 2 年に特急「ひだ」が運行を開始、平成 9 年には安房トンネル開通により冬季でも松本方面からアクセスできるようになり、観光客が一気に増加した。平成 12 年には東海北陸自動車の清見インターが供用開始となり観光客数の伸びが見られた。

【オフ期対策の重要性】

- ・ 観光入込客数をシーズンごとに把握することで、「オフ期をいかに売るか」という高山観光の課題が見えてきた。オフ期の観光客増加により全体の観光客数の底上げが行われた。

【リピーターの確保】

- ・ 日本人観光客のリピーター率は7割を超える。アンケートには「親切にされた」、「温かく迎えてもらった」という言葉が並ぶ。土地柄、山に囲まれていることもあり、旅人に積極的に声をかけることにより他国の情報を得ていたと言われており、これが「温かく人を迎える」おもてなしの原点となっている。

【バリアフリーとの一体性】

- ・ バリアフリーによるまちづくりを行政と一体となって推進した。バリアは身体障がい者の方もそうだが、外国人にとっては言葉の障壁という点がある。実際に車椅子利用者や外国人に高山の街を歩いてもらうモニター調査を実施し、課題となった道路の改装等に取り組んだ。これにより高山市内の主な歩道から、段差や穴の空いた側溝がなくなったと言われている。

【官民協働の重要性】

- ・ 官民からなる飛騨高山国際誘客協議会の中で、外国へのPR事業等を積極的に取り組んできた効果は大きいと考えている。

【財源確保】

- ・ 観光PRのための財源として、入湯税が年間約2億円入るが、このうち約1億円を誘客宣伝費として活用している。旅行雑誌等への広告や特集記事掲載、ケーブルテレビ番組（全国配信）での観光PRなどで活用している。また、高山市内の宿泊予約の約

4割がネットからの申し込みのため、旅行関連サイトへの景品提供を行い、宿泊客獲得のキャンペーンを実施している。

- ・ 高山祭には23台の山車が出るが1台につき20万円の補助を出している。また、パンフレットは、昭和57年から日立製作所が協賛として製作費を全額負担してくれている。

(3) シルバー人材センターヒアリング結果

【シルバー観光ガイドの養成と利用実態】

- ・ 就業確保策として市からの要望もあり、平成16年に飛騨高山シルバー観光ガイド(通称:おもてなし案内人)が発足した。発足当初はガイドの一般募集(公募)を行ない、1週間の研修ののち15人体制でスタートした。毎年春に新規募集をしており、現在(平成22年)は24名が在籍している。在籍するガイドの経歴は様々である。外国人対応について、平成19年に別枠で募集し、現在は2名が英語対応可能である。
- ・ ガイドは業務として行なうため有料(1回3,300円)で実施している。なお、1団体の人数は、ガイドの生声が通る範囲ということで10名以内に限定している。有料にすることで、案内人のモチベーションも高まり、同時に案内することの責任も生じてくる。
- ・ 事前予約制であり、インターネットからの申し込みが可能である。当日の申し込みにも対応している。集合場所は予め利用者と確認し、利用者の都合の良い場所からガイドを開始している。
- ・ 団体客の利用は少なく、個人利用客の利用が多くなっている。初年度の案内は78件、平成22年には375件の実績がある。
- ・ 利用者の大半は一般的なニーズであるが、利用者のニーズにもかなりばらつきがあるため、ニーズに合わせてシルバー人材センターからガイドを指名するなど事前に調整を行っている。
- ・ ガイドの質の向上のために利用者へのアンケート調査を実施し、現場にフィードバックしている。ガイドそれぞれがグループを作り、基本のテキストを基に歴史の勉強や互いにガイドの様子を確認し合うなどスキルアップの努力をしている。

(4) 高山市海外戦略室ヒアリング結果

【取組の一体化による相乗効果発揮】

- ・ 平成23年4月に海外戦略室が設置された。従来は外国人観光客誘致、地場製品の販売、国際交流等について部署ごとにバラバラに取り組んできたが、これらを一体的に進め、戦略的に取り組むことにより相乗効果を生み出す目的で立ち上げられた。
- ・ 高山市のインバウンド状況は、アジア圏、特に台湾からの団体ツアーが多く年間3万人程で、中部国際空港から高速道路を使い入ってくる人が多い。台湾が多いのは平成8年から集中的に観光展を現地で行ってきた効果があると考えられる。欧米人はFIT(個人旅行)の傾向が強い。

【インバウンドセールス】

- ・ インバウンドセールスは、国際誘客協議会で募集をかけ官と民が一緒に取り組んでいる。観光カリスマとして認定されている蓑谷穆氏（現商工会議所会頭、コンベンション協会会長）がリーダーシップを発揮し、会員間の交流など積極的に行ってきたことが、昔から官民一体という体制がとれた大きな要因として挙げられる。
- ・ 現市長が公約で外国人観光客の年間入込（宿泊）数の目標を 300,000 人としており、高山市海外戦略ビジョンの策定に取り組んでいる。ビジョンは観光という一分野に限らず、観光、商工、農政、国際交流など様々な分野における横軸を通し、それらを統括し、海外に向けた施策を推進するためのものである。目標達成のために、情報発信、受け入れ体制の強化、魅力あるエリアとルートの形成を戦略の柱に置いている。

【ホームページの多言語化とソーシャルメディアの活用】

- ・ 現在、多言語のホームページは 11 か国語で展開しているが、日本語版を単純に多言語化したもので使い勝手が良くないため、見直す方針である。多言語散策マップも同様、国別・地域別の志向があり、それぞれ違う見せ方にしたいと考えている。口コミも重要なPR方法でありフェイスブックに情報を登録する専属スタッフを1人配置している。
- ・ 従来、外国人観光客の動向は1年ごと集計していたが、1か月単位でデータをとり、リアルタイムに情報を把握し、次の対策を早く立てられるようにする。

【広域的取組みと人事交流】

- ・ インバウンドは一自治体が出て行ってもなかなか認知されない。広域的な取組が重要と捉えており、高山市では金沢、富山、松本等とともに取り組んでいる。
- ・ 中国から人事交流で職員が配属されている。高山市からはフランス、香港に出向するなど、人事交流も盛んに行っている。